

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社
 コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 三規
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 吉野 利彦
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

TEL 048-710-4800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,007	—	94	—	82	—	58	—
20年3月期第1四半期	3,126	△34.5	300	103.1	334	863.6	566	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.63	—
20年3月期第1四半期	6.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	9,854	—	5,379	—	54.6	—	57.65	—
20年3月期	9,939	—	5,623	—	56.6	—	60.27	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,379百万円 20年3月期 5,623百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,080	—	60	—	45	—	25	—	0.27
通期	13,700	11.3	795	△32.6	765	△22.8	650	△41.0	6.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 93,481,700株 20年3月期 93,481,700株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 172,074株 20年3月期 167,558株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 93,313,141株 20年3月期第1四半期 93,328,121株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益に改善が見られ設備投資も緩やかに増加、個人消費も回復の兆候を示すなど、企業・家計両部門共に回復基調で推移しました。しかし一方で、原油など原材料価格の高騰が続き、物価への影響も見られる中で、企業の景況感は悪化しており、先行きへの不安が払拭されない状態が続いています。

このような経済環境の下、前会計年度に繰越損失を解消し新たなスタートを切った当社グループは、大胆な事業再構築による持続的成長への基盤作りを着実に進めておりますが、当第1四半期連結会計期間の売上高は30億7百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は94百万円（前年同期比68.7%減）、経常利益は82百万円（前年同期比75.5%減）、四半期純利益は58百万円（前年同期比89.6%減）となりました。

電子機器事業部門は、パチンコ関連業界における事業環境悪化に対応すべく、三洋電機株式会社より買収した搬送システム事業の円滑な引継ぎに万全を期すると共に、営業力の抜本的強化を図るため営業本部を設置し、また、都内に営業拠点を開設いたしました。さらに、開発機能と生産機能の一体的運営による新製品開発及び生産の一層の効率化を目的とした技術生産本部を設ける等、様々な施策を講じ業績の維持・向上に努めてまいりましたが、搬送システム事業の引継ぎに係る経費負担等のため、利益水準が下落することとなりました。この結果、売上高は22億64百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は25百万円（前年同期比84.3%減）となりました。

一方スポーツ事業部門は、国内市場においては、「AXIV」シリーズ及びOEMシャフトの新規顧客獲得に努めましたが、市況低迷の影響を受け売上高が低迷し、海外市場においても、「ProforceV2」シリーズ及びOEMシャフトの受注拡大に取り組みましたが、受注競争及び値引要求の激化等のため、売上高、営業利益共に伸び悩み、売上高は7億42百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は68百万円（前年同期比50.3%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は98億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。

流動資産は86億83百万円となり、2億20百万円減少いたしました。これは主として、搬送システム事業買収に伴う現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は11億71百万円となり、前連結会計期間末と比べ1億36百万円増加いたしました。これは主として、搬送システム事業買収に伴う無形固定資産の増加によるものです。

負債合計は44億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金等の増加によるものです。

純資産合計は53億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億43百万円減少いたしました。これは利益剰余金の増加58百万円があったものの、為替換算調整勘定が3億2百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金等価物（以下「資金」という。）は、35億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億91百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億96百万円の減少（前年同期末は5億6百万円の減少）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益82百万円、減価償却費49百万円、仕入債務の増加1億44百万円があったものの、売上債権の増加3億73百万円及び搬送システム事業買収に伴うたな卸資産の増加5億67百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億70百万円の減少（前年同期末は17百万円の増加）となりました。これは主として、搬送システム事業の買収に伴う有形固定資産の取得による支出1億5百万円、同じく無形固定資産の取得による支出2億23百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、重要な増減はありません。（前年同期末は18百万円の減少）

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に発表いたしました「平成20年3月期決算短信」における予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
当第1四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ①固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
 - ②たな卸資産の評価方法
四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。
これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,595,965	4,557,162
受取手形及び売掛金	2,728,837	2,437,491
有価証券	12,416	12,416
製品	399,807	571,426
原材料	1,015,964	810,113
仕掛品	653,270	268,190
貯蔵品	85,302	101,236
繰延税金資産	19,148	15,971
その他	177,313	140,308
貸倒引当金	△4,438	△10,144
流動資産合計	8,683,587	8,904,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	471,031	848,187
減価償却累計額	△272,330	△526,008
建物及び構築物(純額)	198,701	322,178
機械装置及び運搬具	1,038,100	1,223,294
減価償却累計額	△856,009	△1,032,481
機械装置及び運搬具(純額)	182,091	190,812
工具、器具及び備品	659,059	1,039,155
減価償却累計額	△506,127	△932,814
工具、器具及び備品(純額)	152,931	106,341
土地	3,449	3,449
建設仮勘定	2,576	2,659
有形固定資産合計	539,750	625,442
無形固定資産		
のれん	208,168	—
その他	10,467	7,245
無形固定資産合計	218,635	7,245
投資その他の資産		
投資有価証券	32,730	22,730
長期貸付金	593,463	594,879
繰延税金資産	15,255	16,495
その他	603,495	593,274
貸倒引当金	△831,969	△824,989
投資その他の資産合計	412,975	402,389
固定資産合計	1,171,361	1,035,076
資産合計	9,854,949	9,939,249

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,991,787	1,947,765
短期借入金	514,285	514,285
未払法人税等	43,275	23,854
賞与引当金	53,033	59,106
その他	308,117	224,557
流動負債合計	2,910,500	2,769,569
固定負債		
長期借入金	1,028,571	1,028,571
退職給付引当金	454,056	436,197
役員退職慰労引当金	21,892	20,262
その他	60,200	60,950
固定負債合計	1,564,720	1,545,980
負債合計	4,475,220	4,315,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	1,378,223	1,319,254
自己株式	△29,576	△29,202
株主資本合計	5,307,394	5,248,799
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	72,334	374,900
評価・換算差額等合計	72,334	374,900
純資産合計	5,379,728	5,623,699
負債純資産合計	9,854,949	9,939,249

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	3,007,031
売上原価	2,138,362
売上総利益	868,668
販売費及び一般管理費	※ 774,639
営業利益	94,029
営業外収益	
受取利息	2,205
固定資産賃貸料	10,298
その他	15,136
営業外収益合計	27,640
営業外費用	
支払利息	13,669
固定資産賃貸費用	9,468
為替差損	15,233
その他	1,280
営業外費用合計	39,651
経常利益	82,018
特別利益	
貸倒引当金戻入額	44
特別利益合計	44
税金等調整前四半期純利益	82,062
法人税、住民税及び事業税	26,666
法人税等調整額	△3,573
四半期純利益	58,969

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	82,062
減価償却費	49,686
のれん償却額	10,956
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,441
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,162
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,859
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,630
受取利息及び受取配当金	△2,205
為替差損益 (△は益)	15,233
支払利息	13,669
売上債権の増減額 (△は増加)	△373,164
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△567,182
仕入債務の増減額 (△は減少)	144,135
その他	22,980
小計	△586,058
利息及び配当金の受取額	2,190
利息の支払額	△6,399
法人税等の支払額	△5,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	△596,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△105,227
無形固定資産の取得による支出	△223,324
投資有価証券の取得による支出	△10,000
その他	△2,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△991,197
現金及び現金同等物の期首残高	4,517,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,525,965

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,264,366	742,664	3,007,031	-	3,007,031
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,264,366	742,664	3,007,031	-	3,007,031
営業利益	25,719	68,310	94,029	-	94,029

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主な製品は以下のとおりであります。

- (1) 電子機器事業……………パチンコ関連機器、小型自動券売機、OEM機器
(2) スポーツ事業……………ゴルフ用品、遮断桿

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,396,151	94,024	516,855	3,007,031	-	3,007,031
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	281,355	4,593	285,949	(285,949)	-
計	2,396,151	375,380	521,448	3,292,980	(285,949)	3,007,031
営業利益	29,896	14,392	49,741	94,029	-	94,029

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

- (1) アジア……………バングラデシュ、中国
(2) 北米……………米国

3. 当第1四半期連結会計期間における配賦不能営業費用はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	386,496	46,254	178,602	1,559	612,912
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	3,007,031
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	12.9	1.5	5.9	0.1	20.4

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

- 北米……………米国、カナダ
- 欧州……………ドイツ、イギリス
- アジア……………中国、シンガポール
- その他……………中東、南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金 額 (千円)
I 売上高	3,126,920
II 売上原価	2,190,461
売上総利益	936,459
III 販売費及び一般管理費	635,605
営業利益	300,854
IV 営業外収益	71,685
受取利息及び配当金	5,123
その他	66,561
V 営業外費用	37,623
支払利息	13,748
その他	23,874
経常利益	334,915
VI 特別利益	302,695
VII 特別損失	35,571
税金等調整前四半期純利益	602,039
税金費用	35,415
四半期純利益	566,623

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区 分	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	602,039
減価償却費	23,039
投資有価証券売却益	△299,000
売上債権の増減額(増加:△)	△78,463
たな卸資産の増減額(増加:△)	△282,087
仕入債務の増減額(減少:△)	△512,436
その他	74,865
小 計	△472,044
利息及び配当金の受領額	5,147
利息の支払額	△14,791
法人税等の支払額	△25,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	△506,809
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の売却による収入	1,044
有形固定資産の取得による支出	△1,580
定期預金の解約による収入	10,000
その他	7,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,400
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期(短期)借入金の返済による支出	△18,000
その他	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,504
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△684
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△508,597
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,926,598
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,418,001

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,224,206	902,714	3,126,920	-	3,126,920
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,224,206	902,714	3,126,920	-	3,126,920
営業利益	163,313	137,540	300,854	-	300,854

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主な製品は以下のとおりであります。

- (1) 電子機器事業……………パチンコ関連機器、小型自動券売機、OEM機器
- (2) スポーツ事業……………ゴルフ用品、遮断桿

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,394,435	109,049	623,435	3,126,920	-	3,126,920
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	785,058	467,086	19,896	487,767	-	487,767
計	2,395,220	576,135	643,331	3,614,688	-	3,614,688
営業利益	174,982	41,002	84,869	300,854	-	300,854

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

- (1) アジア……………バングラデシュ、中国
- (2) 北米……………米国

3. 前第1四半期連結会計期間における配賦不能営業費用はありません。